2026年11月13日

各　位

会社名　株式会社京三製作所
代表者名　代表取締役　社長執行役員
國澤　良治
（コード番号　6742　東証プライム）
問合せ先　戦略企画本部　経営企画・ＩＲ部長
近藤　俊之
（TEL.　045-330-9712）

2027年３月期第２四半期累計期間（中間期）業績予想値と実績値との差異ならびに通期業績予想および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

2026年８月７日に公表いたしました2027年３月期第２四半期累計期間（中間期）連結業績予想と実績値に差異が生じましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期通期連結業績予想および2027年３月期の配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 34,000	百万円 20	百万円 400	百万円 320	円　銭 5.18
実績値（B）	33,744	842	1,127	705	11.43
増減額（B－A）	△256	822	727	385	―
増減率（%）	△0.8%	―	181.8%	120.3%	―
（ご参考）前期第２四半期実績 （2026年３月期第２四半期）	31,802	△1,523	△1,123	△611	△9.83

２．差異の理由

2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績につきましては、信号システム事業において生産効率化施策の推進による収益性改善が進んだことに加え、パワーエレクトロニクス事業において市況回復を背景に前期から積み上がった受注残高の売上計上が進展したことなどにより、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益は前回予想を上回りました。

３．2027年３月期通期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	90,200	5,600	6,000	4,200	68.05
今回発表予想（B）	100,000	8,000	8,000	5,500	89.11
増減額（B－A）	9,800	2,400	2,000	1,300	―
増減率（%）	10.9%	42.9%	33.3%	31.0%	―
（ご参考）前期連結実績（2026年３月期）	93,122	4,503	5,203	5,042	81.37

４．業績予想修正の理由

信号システム事業において、リードタイム短縮等の生産効率の向上への取り組みが進捗していることに加えて、パワーエレクトロニクス事業において、AI 関連を中心とした半導体投資の拡大に伴う需要を取り込んだことや、フラットパネルディスプレイ製造装置用電源の需要が緩やかに回復していることから、売上高は前回予想を上回る見通しです。

利益面につきましても、両事業における増収効果に加えて、生産効率化施策の継続的な推進による収益性の改善を見込むことから、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも前回予想を上回る見通しです。

５．配当予想の修正について

	年間配当金（円）		
	第２四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭
前回予想	5.00	22.00	27.00
今回修正予想	―	25.00	30.00
当期実績	5.00	―	―
前期実績（2026年３月期）	5.00	20.00	25.00

６．配当予想修正の理由

当社グループは、中期経営計画"KYOSAN Next Step 2028"において、成長に向けた各分野への投資と株主還元とのバランスを重視し、中長期的な利益水準に応じた安定的な株主還元を実施することを基本方針としております。また、剰余金の配当については、DOE（株主資本配当率）３%台を目指すこととしております。

この方針および足元の業績動向等を総合的に勘案し、2027 年３月期の期末配当予想につきましては、前回予想から１株当たり３円増額し、22 円から 25 円に修正いたします。これにより、2027 年３月期の年間配当金は１株当たり 30 円となる予定です。

（注）上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以　上